

走査型プローブ顕微鏡 (AFM) ワークショップのご案内

日時 | 令和8年3月16日~17日

会場 | 福井大学 文京キャンパス
産学官連携本部II号棟3F会議室

入場 | **無料** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

実演 | **お客様の実試料**でお試しいただけます。

参加申込書に必要事項をご記入の上、申し込みフォームよりお申込み下さい。
また当日試料をご持参される場合は事前にサンプルの内容をお知らせください。

走査型プローブ顕微鏡 : SPM-Nanoa™



01 オート機能搭載
従来のSPMで必要だった光軸調整や観察条件の詳細設定、データ処理を自動化しスムーズな観察ができます。

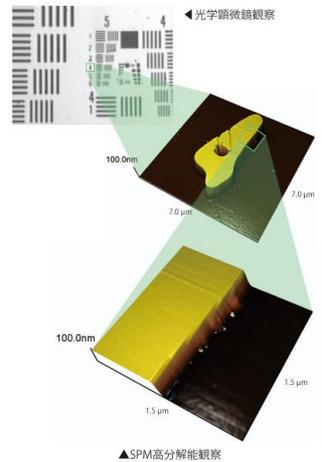


光軸調整を完全自動化 "Link On"

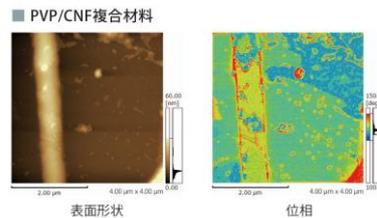


Link Onボタンをクリックするだけでレーザーの光軸調整完了

02 視野を精密に
SPM-Nanoaでは光学顕微鏡像で観察位置を探し、簡単にSPM観察に繋げることができます。

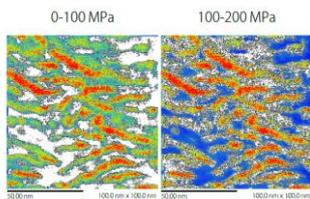


03 様々な観察
プローブと観察条件を適切に設定することで、AFM像だけでなく、形状や機械特性、電磁気など様々な物性評価が行えます。
※一部の観察はオプションです。



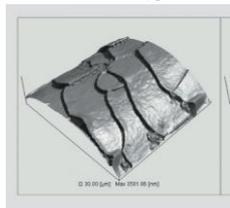
アプリケーション例

弾性率像を使った再生樹脂の結晶性の評価と分布の解析

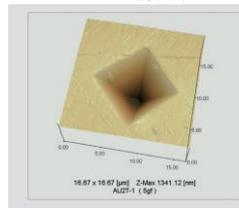


※200-500MPaが結晶と考えられる部分。

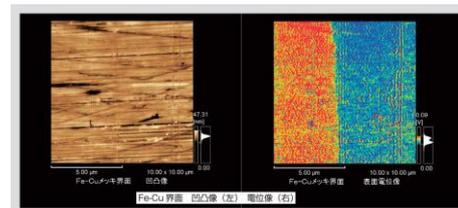
髪の毛のキューティクルの凹凸像



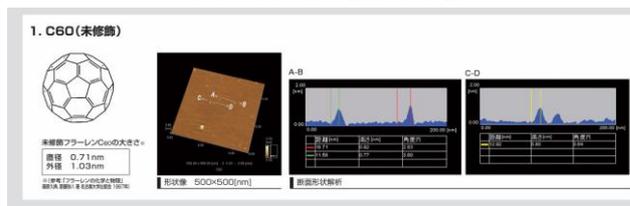
マイクロビッカースの圧痕解析



めっき界面の電位像



フラーレンの大きさの測定



繊維状タンパク質

